月刊やまなご

2013.9.15 発行 No. 190

# 9 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター (あるこっと) だより





台風が近づいているせいか、湿原は濃い霧に包まれ、蒸し暑い朝を迎えた。水滴のついたキタヨシの穂は赤く、丘陵地のヤチダモやオニグルミの葉も黄色くなり始め、草藪から虫たちの涼しげな鳴き声が聞こえる。今月に入り、天気の良い日も出てきたが、お盆の頃は曇りや雨の日が続いて、観光客も足早に次の目的地へ向かう人もいた。

既に大雪山系では紅葉が始まり、台風が通過した湿原の湖にはヒシクイの数も徐々に増えてくる。



# コッタロ川と湿原のほとりから

## 159 9月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住. 中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

コッタロ屋外音楽堂で始まっていた長期音楽祭は今月に入ってクライマックスを迎え"秋澄みて虫の音高し夜もすがら"の昨今です。日暮れが早くなりました。 $2 \, \gamma$ 月余りも灰色の空気に閉じ込められていた太陽がやっとのことで笑顔を見せ本来の季節らしいさわやかな朝の気温 $+10\,^{\circ}$ での目覚

めは久方ぶりです。秋雨前線やら気圧の谷とやらが重なったゲリラご う雨や集中ごう雨の襲来による大地の水浸しで、湿原はもとより、川 には土砂が流れ込み、浅い川床をさらに嵩上げした為チョロチョロ流 れる溝のようになっております。従って魚影も全く見られません。雨 蛙(1 cm位)が一匹出てきましたよ。

ところで、この時季の風物詩と云えば、新しく番になった丹頂等が 営巣地を求めて飛来し、あちらこちらで先住番とのバトルによる叫び 合いで、その賑やかしいこと、喧しいこと。年々増加してきている彼等 にとって真に死活問題と云えましょう。一方、換羽後順調な仕上がり



で生え揃った翼が自慢の第2コツ&タロ及び18羽目の幼鳥一家は、自在に空中散歩を楽しみ乍ら、



遠出(修学旅行)する日を計っており、一人っ子の甘えん坊ぶりを発揮して母鳥からエサのタマクラ(太ミミズ)をもらっているツルっ子のあどけない仕草に一喜一憂しているようですね。

さて、気がつけば野鳥の姿がめっきり減少し、 アオジ数羽が見られる程度で大方の夏鳥達は旅立ったのでしょうか。冬鳥達の渡来を待つばかりですが、庭のワタドロの林だけは、すでに葉を落としてしまい、留鳥である山蝉、川蝉の止まり木となっております。

特筆すべきは、喜びの収穫期を迎えた我実験 農場に育った多くの畑作物は、こともあろうに 野ネズミの大発生で大わらわ。ネット囲いで鹿 の食害からは免れたものの、実物、葉物、豆類 を問わず何でもござれのネズミ軍団にカリカリ カリカリ・・・・歯形の跡が無い物を見つけ るのが難しい程で、夜な夜な大御馳走していた なんて!まさかのネズ公に『寝ずの番』も出来 ず、知恵不足で一敗してしまいました。思えば 山も畑も豊作の年は、当然それを食する動物達 にとっても飽食の年と云うことですわね。笑っ て下さい。 唐花草は茎を他のものに絡ませながら伸びる、つる性の植物です。つるや葉っぱはざらざらした感触です。花時を過ぎると写真のような松かさ状になり、道路沿いからも淡緑色の実と深緑の葉が相まって目立つ様になります。ホップと呼ばれるセイョウカラハナソウは、ビールの苦みと香り付けに利用されますが、和製ホップのこれは使わないようです。物の本には"根を焼いたり煮たりして、果実は栗飯にかけて発酵させ糀に用いた。茎を乾かしてもみ表皮を落としてそれから糸をとった。"という記述があります。孔雀に似た眼状紋が特徴のクジャクチョウは、



幼虫がこの葉を食草に利用しています。たわわに付いた実を見ながら何に使おうか思案中です。

#### 芸術の秋!! 「針穴写真講習会」を開催

7日、自然ふれあい行事「針穴写真講習会」を開催しました。 写真の原点ともいえる針穴写真を体験するもので、レンズの代わりに直径0,2ミリの穴を開けた薄いアルミ板と空き箱を使ってカメラを作り、中に光を固定する印画紙を詰めて完成。講師の伊藤淳一さんから撮影の際の説明を受け、各自場所を探して撮影開始。

当日は曇りで撮影時間も約2分となり、はたして写っているか心配しましたが、暗室に入り現像液に浸けた印画紙から映像がジワーッと浮かんだ時点でじぇじぇじぇとなり、さらにネガ画像をポジ画像にして写真を完成させると「こんなに写るんだ」「まるで絵画のようにも見える」など、皆さん初体験で様々な驚きや感動があったようです。

ハイテクなデジタル写真には無い、ローテクかつ独特な雰囲気を持った針穴写真講習会でした。





完成した作品

#### つぼっちの塘路周辺うろうろ日記 Vol.70「続・新たな見学スポット誕生します。」

今年の夏は雨が多かった印象ですが、道東の 秋は例年晴れる日が多く、散歩したくなるよう な爽やかな秋晴れを期待したい所です。

さて今、郷土館やあるこっとのある塘路元村 地区の西側の塘路湖岸沿いで、新たな見学スポットとして縄文時代の竪穴住居を復元製作して います。

実は竪穴住居を製作している場所自体も縄文時代の遺跡であり、土器や石器が発見されています。現在でも見られる豊かな自然の中で暮らしていた、縄文の人々の生活に想いを馳せる場所として、静かな湖畔に佇む竪穴住居はぴったりです。完成予定は来年夏ですが、今年の秋にはほぼ骨格を完成させます。

新たな見学ポイント誕生の時には改めてご紹介します。

坪岡 始(標茶町郷土館学芸員)



# 10月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

### バードカービング講座1回目

[日時] 10/20(日)11:00~15:00 [定員・参加料] 15名、4000円(材料費) [場所] 塘路湖EMCレクチャールーム [持ち物] 筆記具、定規、エプロン、昼食 \*ベニマシコをつくります。

#### 散策と絵手紙で楽しむ秋の釧路湿原

 [日時] 10/26 (土) 10:00~15:00
[定員・参加料] 10名、無料
[場所] 塘路周辺(集合場所は塘路湖EMC)
[持ち物] 筆記具、絵の具、昼食、散策に 適した服装と靴 \*葦ペンも作ります。

#### ※5回の講座参加可能な方。

#### 塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【 植物 】(8/23) ウド. コウライテンナンショウ緑色の実 (8/26) オニグルミの実 (8/27) エゾミソハギ. シロネ. ハッカ (8/28) ドクゼリ. サワギキョウ (8/30) ミゾソバ. アキノウナギツカミ. ハンゴンソウ. オオハンゴンソウ. ホザキシモツケ. サラシナショウマ花と実. エゾリンドウ. カラフトイバラの実. カンボクの実. カラコギカエデの実. イケマの実. ツリガネニンジン (9/6) ヤマハハコ. ミズナラの実. バイケイソウの実. ヒシの実. ハナタデ. ホオノキの実 (9/13) キクイモ. コウライテンナンショウ紅色の実 (9/9) ミツバフウロ. ムシトリナデシコ. アキノキリンソウ. イヌタデ. ヤマブドウ

【 鳥 】(8/23)カワラヒワ. セグロセキレイ (8/25)ハクセキレイ (8/27)オジロワシ (8/30)マガモ. ノビタキ (9/5)ヒシクイ(今季初確認). タンチョウ家族 (9/13)カワセミ

【その他】(8/23) エゾシカの親子 (8/27) キタキツネ (9/3) ベカンベ採りの舟 (9/6) ルリボシヤンマ. マユタテアカネ. シオカラトンボ. キトンボ (9/9) ヒメクサキリ. コエゾゼミ (9/13) クジャクチョウ. エゾリス. モンスズメバチ

#### ■スズメバチにご注意ください!

スズメバチの発生が多い時期です。散策中に出会った場合は、手で追い払ったりせず、ゆっくりその場から離れるなど、ハチに刺激を与えないように行動しましょう。

また、外で甘味のある飲み物を飲んでいると近寄って来るハチもいますので注意してください。

◆日出・日入時間 9/15(5:02, 17:33). 9/30(5:18, 17:06). 10/14(5:34, 16:42)



シラルトロ湖に飛来したヒシクイ(9/10)

釧路湿原国立公園

#### 塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

●088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00~17:00 (11月~3月は16:00まで) 休館日:毎週水曜日 12月 29日~1月3日 入館無料